



郡中学校通信 No33

学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」
校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

郡中ビレッジ 美・礼・時

チーム郡 思いを力に!

R 4 . 1 . 2 4 発行 文責 校長 松崎大樹

3学期のスタート、コロナ禍に負けず、頑張ろう!という風が校内に吹き始めています。
そして、そんな郡中を後押ししてくれる生徒達の思いや活躍を紹介させていただきます。

令和4年が始まり早4週間が過ぎました。さて、生徒のみなさんは、新しい年、それぞれの自分の夢や希望に向かって歩み始めたでしょうか?

この4週間の中で、私は、自分の進路を真剣に考え始めた生徒たちにたくさん出会うことができました。また、校内のあちこちで奉仕作業に主体的に取り組んでいる生徒の姿をたくさん見かけました。そして、朝の挨拶も少しずつ元気になってきているように感じています。そんな郡中の3学期のスタートを、「コロナ禍に負けず、頑張ろう!」という風が校内に吹き始めているように感じているのです。

過去にとらわれることなく、そして、自分自身を他の誰かと比較することなく、自分なりのリズムで粘り強く取り組んでいくと、たとえその歩みは小さくても、間違いなく、確かな力が自分の中に宿っていくのです。

3学期始業式の時、生徒指導主事の兼松先生が語ってくれた素敵な言葉がありました。「意識をすると行動が変わる。→行動が変わると習慣になる。→習慣になると人格が変わる。→人格が変わると運命が変わる。」と・・・。

この3学期は春の新たなスタートに向けた0学期です。コロナ禍に負けず、頑張ろうと意識する中で、自分の夢や希望の実現に向けて確かな力を身につけてください。そして、この紙面では、3学期始業式の時、生徒代表として自分の決意を発表してくれた3名の生徒の思いと、郡中の頑張りを後押ししてくれる県、全国レベルで活躍した生徒達を紹介させていただきます。ご一読ください。



その1 3学期始業式における決意の言葉

※一部抜粋して紹介させていただきます。

●●●●● 一学年代表 久保美月 ●●●●●

新しい年を迎え、クラスの仲間と過ごす時間も残りわずかとなりました。三学期は学年のまとめの時期であり、私はいくつかの目標を持って過ごしていこうと思います。

まずは学習面です。今までなかなか継続できなかった毎日の学習を徹底して行い、その授業の復習や予習などで学力の向上を図りたいです。次に部活動です。春の大会に向けてご指導くださっている先生、コーチ、先輩方の期待に応えられるように一日一日の努力を積み重ね、練習に取り組みたいです。最後にクラスの目標達成です。三月には「このクラスで良かった、最高の仲間だった。」と思えるようなクラスになるよう、仲間と協力して学校生活を楽しみたいです。

これらのことを踏まえて、三学期は、「桜花爛漫」というテーマを掲げました。桜は冬の厳しい寒さを乗り越えて温かい春に満開の花を咲かせます。これから大きな壁に戸惑い、くじけそうなどきがあるかもしれませんが、そんなときこそ失敗を恐れずに何度も挑戦して壁を乗り越えていきたいと思えます。



△▼△▼△▼ 第二学年代表 向井祐貴 △▼△▼△▼

僕は3学期の目標を3つ決めました。

まず一つ目は、「係活動を積極的に行うこと」です。3学期は、係活動を忘れることなく、また、係の仕事に加え、クラスのために自分から行動できるようにしたいです。次に、2つ目の目標は「3年生への進級に向け学習方法の改善を図ること」です。今の自分の勉強方法には満足していなかったため、テスト前の勉強に集中して取り組み、しっかり記憶できるように工夫していきたいです。最後に3つ目の「テストの点数や成績向上のための努力」です。勉強するための環境作り、そして継続した勉強時間の確保を行っていききたいと思います。

3学期は50日間です。3年生0学期でもあるこの3学期を充実したものになりたいです。

□■□■□■ 第三学年代表 小川悠季斗 □■□■□■

私たち三年生は、中学校生活が残り3ヶ月となり、一、二年生は次の学年に向けての準備をする時期になりました。この春、三年生は中学校を卒業すると共に高校に進学をします。高校は中学校より大変だと思います。これを乗り越えられるように、この3学期、体育大会や合唱コンクールで培ってきた力を勉強にも生かしていきたいと思えます。

また、残り3ヶ月の中学校生活ですが、まだやり残したことがあります。私は、3年生のみならず、この郡中学校をさらに良い学校にして卒業していきたいと思っています。特に、挨拶の仕方や掃除への取り組み方です。

みんなで協力して挨拶への意識をもっと高めると共に、清掃活動では、掃除を行うことで郡中学校がきれいに保たれていることに感謝して、私たち一人一人が生活態度をもう一度見直す中で、この3学期、良い締めくくりを迎えられたら良いと思えます。

僕自身も、受験勉強に集中して取り組み、志望校に合格して、笑顔で卒業できるように頑張ります。

※裏面に続きます。引き続き、ご一読ください。



その2 郡中の頑張りを後押ししてくれる 県、全国レベルで活躍した生徒達を紹介させていただきます。

JOC第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会ベスト16 男子バレー部の3年朝長優斗さん・坂本光翼さん・松岡宙輝さんの3選手が出場

大阪中央体育館を会場に令和3年12月25日(土)～28日(火)の4日間の日程で開催された「第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に男子バレー部の朝長優斗さん・坂本光翼さん・松岡宙輝さんの3選手が長崎県選抜チームの選手として出場しました。

長崎、静岡、福島の子選リーグを接戦の末、見事1位で通過して決勝トーナメントに進み、ベスト16を成し遂げました。

また、朝長優斗さんは、全出場選手から12人選出される優秀選手賞にも選ばれました。3名の選手達の健闘をしっかりと讃えたいと思います。



優秀選手賞
朝長優斗さん

令和3年度長崎県イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト 3年中村詩苑さんが「最優秀賞」を受賞！ 長崎県のトップに輝く！

日頃培ってきた英語学習の成果を発表する場を提供することにより、県内中学生の英語に対する興味・関心を高めると共に、英語による表現力を育成・強化することを目的として令和4年1月15日(土)に「令和3年度長崎県イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト」が開催されました。

各市町の予選を勝ち抜いた推薦者1名(但し、長崎市、佐世保市は各2名)と、県立中学校、県立特別支援学校中学校部及び長崎大学教育学部附属中学校、附属特別支援学校中学部からの各校1名の推薦者による総勢20名のとても高いレベルの中でのイングリッシュ・パフォーマンスコンテストとなりました。

そのコンテストで、大村市代表として出場した本校3年中村詩苑さんが、なんと長崎県トップの「最優秀賞」を受賞しました。

中村詩苑さんは、マララ・ユスフザイさんが17歳の時、ノーベル平和賞を受賞し、ニューヨークの国連本部で行なった「子どもたちへの教育と女性の地位向上の重要性を訴えたスピーチ」を、流暢な英語で落ち着いて暗唱しました。特に、内容をしっかりと理解した、説得ある英語スピーチが高く評価されたそうです。本当におめでとうございます！



【マララ・ユスフザイさんの紹介】

17歳の時ノーベル平和賞を受賞した。彼女は15歳の時、女性が教育を受ける権利を訴えたことで、2012年10月、友人とともに武装勢力(タリバン)に頭を撃たれましたが、奇跡的に回復。

2013年7月12日にニューヨークの国連本部で行なった、子どもたちへの教育と女性の地位向上の重要性を訴えたスピーチを行いました。



発表の英文原稿の一部を抜粋

In her speech, Malala said, "A war can never be ended by a war." "Instead of sending guns, send pens. Instead of sending tanks, send books. Instead of sending soldiers, send teachers." Malala continued to speak out: "Let us dream today. A dream of a bright future. There every girl and every boy are going to school. We are going to be the future and let us make our future now, and let us make today's dreams tomorrow's reality."

マララはスピーチの中で、「戦争は戦争によって終わらせることはできない」「銃を送る代わりに、ペンを送ってください。戦車を送る代わりに、本を送ってください。兵士を送る代わりに、教師を送ってください。」と述べました。マララは続けて次のように述べています。「明るい未来の夢。そこではすべての女の子とすべての男の子が学校に行っています。私たちは未来になり、今私たちの未来を作り、今日の夢を明日の現実にしていきましょう。」

3年高瀬詩織さん 第40回全国都道府県対抗女子駅伝に8区で出場！ 順位を1つ上げ、東京五輪1万メートル7位の広中璃梨佳さんにたすきをつなぐ！

第40回全国都道府県対抗女子駅伝が1月16日(日)、京都・たけびしスタジアム京都発着の9区間、42.195キロで行われました。長崎県代表として8区を担当した本校3年の高瀬詩織さんは、8区3キロを担当し、区間15位の走りで順位を10位に一つ上げ、最終9区10キロを担当する東京五輪1万メートル7位の広中璃梨佳さん(21=日本郵政グループ)にしっかりとたすきをつなぐことができました。その後、最終9区の広中璃梨佳さんが6大会連続の区間賞をマークし5人を抜いて長崎県は5位でゴールし、長崎県チームを3大会ぶり14度目の入賞へ導きました。オリンピック選手や日本のトップ選手がたくさん出場する全国大会で、見事、素晴らしい走りを見せてくれた3年高瀬詩織さんに、本当に大きな、大きな感動をもらいました！



長崎県女子選手団のユニフォームと全メンバーの写真です。
中段中央が高瀬詩織さん、上段左から2番目が広中璃梨佳さんです。